

# いじめを見立てる力を高める校内研修 進行計画（60分）

～研修実施者（ファシリテーター）用資料～

## 1 研修のねらい

いじめの架空事例を用いたグループでの事例ワークを通して、

- いじめ事案の初期判断についての合意形成を体験し、組織的な見立て（情報収集やリスク検討）の意義を考える。
- いじめ事案を見立てるポイントとして、いじめの「判断の観点」と「深刻化のリスク」を理解し、共有する。

## 2 準備するもの

### (1) 配付資料

☑	記号	標 題	標準印刷規格	配付
<input type="checkbox"/>	ア	「いじめを見立てる力を高める校内研修」手順書	A4 片面	事前
<input type="checkbox"/>	イ	<b>資料1</b> 「各検討項目の留意点」	A4 片面	事前
<input type="checkbox"/>	ウ	<b>資料2</b> 「いじめ事案の初期判断のためのフローチャート」 「初期判断と支援の方向性の例」	A4 両面	事前
<input type="checkbox"/>	エ	<b>別紙</b> 「情報カード」 ※5枚で1セット	各A4 片面	研修中(ワーク前)
<input type="checkbox"/>	オ	「司会者用資料〔進行台本〕」	A4 両面	事前(司会者のみ)
<input type="checkbox"/>	カ	「記録者用資料〔記録様式〕」	A4 片面	事前(記録者のみ)
<input type="checkbox"/>	キ	「個人の振り返りシート」	A4 片面	研修後

※準備数：ア・イ・ウ・キ…全員分 エ…グループ数分+α オ・カ…グループ数分

↳司会者+記録者

※共通情報及び関係図を示した「情報カード（司会者・記録者手持ち用）」は司会者と記録者に渡す

- (2) 模造紙（ホワイトボード）、ペン（黒・赤・青・緑の4色）※黒以外は自由〔グループ数分〕
- (3) ICT機器（パソコン〔パワーポイント使用〕・プロジェクター・スクリーン・スピーカー）〔1セット〕
- (4) グループ編成 標準：1班7名（うち、司会者…1名、記録者…1名 ※両者を兼ねる場合は1班6名）

※1班7名より少ない場合

→①使用する情報カードを減らす、②一人に対して2種類の情報カードを渡す、③司会と記録を兼ねる

※1班7名より多い場合

→同じ内容の情報カードを二人に渡す

### (5) 司会者及び記録者の選出と依頼

- ①司会者：事例ワーク中の進行、発言の促進、合意形成のまとめ役（※**司会者**部分）…資料エ・オを渡す
- ②記録者：事例ワーク中の発言等の記録、進行の補佐（情報カードの配付等）役…資料エ・カを渡す

## 3 進行計画

時間	項目	活動内容・留意点
事前	●研修資料の配付	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修をより効果的なものにするため、資料ア～ウを配付し、読んでおいてもらうとよい。</li> <li>・当日にもワークの説明・内容の確認の時間をとることも伝えておく。</li> </ul>
12分	1 導入 ファシリテーター挨拶	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介をする。</li> <li>・研修実施者としての思いを伝えて、参加者に本研修への動機付けを図るとよい。</li> </ul>

		研修のねらいと事例ワークの説明 (1) 研修のねらい (2) 研修のポイント (3) ワークの流れと内容 (4) ワークにおける留意点		・「研修用スライド」に従って、(1)～(4)を説明する。
		(5) ワークの準備		・「情報カード」の役割分担をする。 ※司会者：記録者と協力し、情報カードを配付する。
42分	2 実践	事例ワークの実施		・ファシリテーターは、全体の進行と時間管理に努める。 ・各グループのワーク進行は司会者が務める。
		0 情報整理別紙 ○情報カードを読む	【6分】 (5分)	・記録者が別紙「情報カード」を配付する。 ・別紙「情報カード」を読み、共有すべき内容を整理する。(※「情報カード」への書き込みは可) ①情報元（誰が見たか、誰から聞いたか） ②行為（誰から誰に） ③影響（行為に対する本人の反応・様子）
		◎個人の判断資料2	(1分)	・初期判断のフローを用いて、判断の3観点から、個人の判断を考える。(※口頭でも個人判断を促す)
		I 情報収集・ 状況整理	【14分】	・いじめの初期判断に必要な情報について、意見を出し合う。①共通情報 ②個別情報 観点1：影響を与える「行為」は何か？ 観点2：「行為」に対する本人の反応・様子は？ ※司会者：①→②の順に進行する。
		II 深刻化のリスク 資料1	【10分】	・いじめを深刻化させる3つのキーワードに該当すると思われる内容（行動や発言、背景要因）について、意見を出し合う。 ①行為の反復性 ②アンバランスパワー ③シンキングエラー ※司会者：①→③の順に進行する。
6分	3 まとめ	III 初期判断 資料2 ○3観点の有無 ◎グループの判断 ○支援の方向性	【10分】 (7分) (1分) (2分)	・I～IIをもとに、判断の3観点の有無の合意形成を行い、初期判断をA～Gの中から決め、支援の方向性の例を確認する。 ※司会者：①合意形成をして、判断をまとめる表面。 ②支援の方向性の例を確認する裏面。
		グループでの振り返り		・ワークを通して、各自の初期判断が他者(グループ)のどのような影響により、どのように変化したか、互いに伝え合い、共有する。
研修後		●研修の振り返り		・「個人の振り返りシート」を配付し、研修を振り返り、内省を促す。 ・「個人の振り返りシート」は記入後、今後の支援体制づくりに生かすため、提出してもらうとよい。